

第23号

みずき野町内会だより

<http://www.mizukino-chonakai.org/>
e-mail: mizukino200902@jcom.home.ne.jp

2018年5月10日(木)
発行人
守谷すみずき野 5-3-4
みずき野町内会
会長 山下 勝博

みずき野集会所
Tel/FAX 0297-48-2971



会長就任のご挨拶

新町内会会長 山下 勝博

新緑の季節を迎え、町内会会員の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。このたび、平成30年度町内会会長に選任いただきました、山下勝博です。

甚だ微力ではありますが、住民の皆様と“3世代が共住し、安心・安全に住み続けることができる街創り”を目指して力を尽くして参ります。

我が家は長男が生まれてすぐ昭和63年10月にみずき野に移ってまいりました。本年10月で丸30年を迎えます。従って長男も30才になりますが、長女(姉)、長男(弟)ともに各々巣立っており、現在は妻と二人で6丁目に住んでおります。



長年、みずき野に住んでいながら、全く町内会活動には縁のない生活でしたが、丁目対抗ソフトボール大会参加の機会に、佐々木前会長を始めとする諸先輩方のお話を伺ったことがきっかけで、町内会活動に参画してより多くの皆様と交流を得たいと考えるようになりました。

また、個人的な事で恐縮ですが、私が取り組んだサッカー少年の育成・指導において、小学生のスポーツ少年団をいつも温かく見守って下さったお母さん方や、ご支援・ご指導を頂いた諸先輩方など、多くのみずき野の皆様にご恩返しが出来ればと思っています。

さて、現在みずき野が直面している課題は、全国で叫ばれている“少子高齢化”への対応です。この課題を解決するには、私を含め“みずき野第一世代”が元気で、パワーのある内に、第二世代(子育て世代)、第三世代(子供、孫)、またその先の世代に引き継いで行ける、足腰の強い“街創り”を進めて行く事が大切だと考えます。

巣立って行った子供達が戻って来て住みたいと感じる街、今はまだ幼い子供達も将来ずっと住み続けていたい街、また他地域からも移り住んでみたくなる街、といった魅力ある街 “みずき野” が求められています。少しでもみずき野の良い所を発信が出来るようにしたいと思います。

町内会だけでは解決が難しい事項は、行政、医療など関係機関とも連携し知恵を借りながら、地域ぐるみで解決に取り組むことが不可欠となってきます。しかし、地域を支えてくださる班長さん(117名)と町内会役員が出来る事には限度があります。そのためには、住民の皆様お一人、お一人から適切なご提案を頂き、また住民の皆様お一人、お一人が当事者としてその事に進んで取り組んでいただくことが大切だと考えております。町内会はその下支えをさせて頂き、真に住民の皆様との“二人三脚”で課題を乗り越えて、“街創り”に取り組んでまいりたいと考えております。

皆様の知恵とお力を是非、町内会活動にお貸しください。

平成 29 年度 定期総会

～ 3世代が共住できる街創りを継続 ～

4月15日（日）、みずき野町内会の定期総会が、郷州小学校体育館で開催されました。今回は会長と3名の副会長が交代し、新しい体制の下で新年度を迎えることになりました。

佐々木会長は、「3世代共住の街創りについて、着実な一歩を踏み出せた。これが続くことで未来がみえてくる」と5年間の活動を総括しました。



泉 副会長
(総務)

大村 副会長
(福祉)

松本 副会長
(総務)

山下 会長

土屋 副会長
(防災)

早稲田 副会長
(防犯)

相澤 副会長
(環境)



山下新会長は、「3世代共住の実現にむけて、思いやり、見守りあい、助け合いの環境づくりが課題」として基本的な方針の継続を表明しました。

議事では、役員推薦の経緯、貝塚再開発やエクセル跡地利用計画の状況、地域内の交通安全対策、業務受託料の配分などについての質疑応答がありましたが、全て原案通りに議決されました。

なお、役員や民生委員が全員男性であることに、「女性の活躍に期待したい」とする意見には、ひととき大きな拍手がありました。

(広報委員)

民生委員・児童委員は地域の皆さんの身近な相談役です。困りごとがありましたらなんでもお気軽にご相談ください。委員の皆さんは以下のとおりです。(民生委員児童委員協議会)

1丁目 播磨 智 ☎48-7844

2丁目 澤田康志 ☎45-3036

3丁目 近藤秀雄 ☎48-4069

4丁目 鈴木正博 ☎45-4536

5丁目 熊倉 誠 ☎45-7567

6丁目 松村泰延 ☎45-7197

7丁目 江幡俊文 ☎48-5710

8丁目 上島一雄 ☎45-0236

南地区主任児童委員 間宮孝子 ☎45-3066



ポケットの会が表彰されました

みずき野町内会

ポケットの会 代表 原田 節子

現在、中央公園を中心に 第 1・2 調整池、郷州公民館周辺の花壇の手入れをしております「ポケットの会」です。

設立は 1998 年(平成 10 年)、町内会役員経験者で“町内会応援部”として立ち上げました。皆様の温かいご支援で約 20 年に及ぶ活動を行ってまいりました。

去る 2 月 10 日に公園里親事業の一環として市長表彰を受けましたのでご報告いたします。みずき野は緑豊かな街です。子供たちが自然に触れられる様に、四季折々の草花が通勤通学の方の心の安らぎに、御年配の方々が草花を愛でるようになればと、そんな思いから「ポケットの会」会員は草花を植栽してきました。これも町内の皆様の色々なシーンでの応援のお陰と感謝しております。



表 彰 状

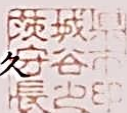
ポケットの会様

貴団体は多年にわたり守谷市公園等里親事業の里親として環境美化活動に寄与されその功績はまことに多大であります

よって守谷市公園等里親事業実施要綱によりここに表彰します

平成30年2月10日

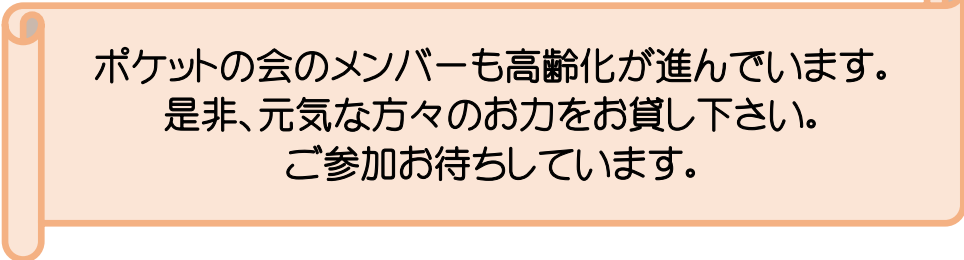
守谷市長 松丸 修久



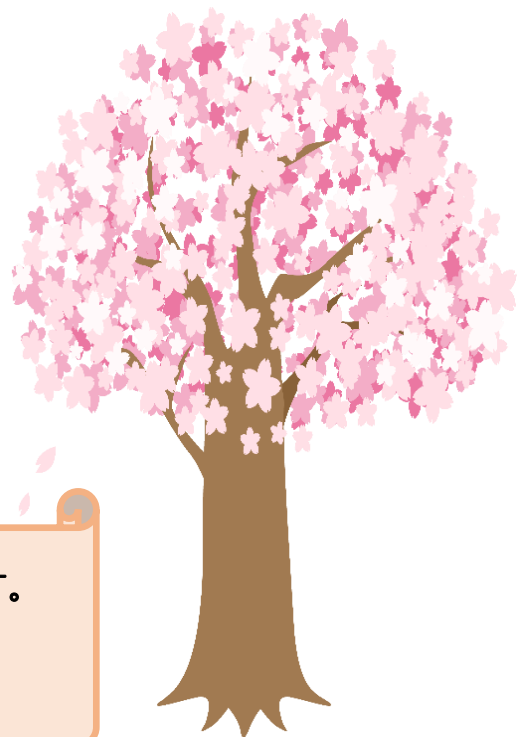
✿ 活動日 ✿

毎週水曜日 9 時～第 1 調整池付近
毎週日曜日 9 時～第 2 調整池付近

いつでもお声掛けください。



ポケットの会のメンバーも高齢化が進んでいます。
是非、元気な方々のお力をお貸し下さい。
ご参加お待ちしております。



平成 30 年度守谷市シニアクラブ顕彰授賞式

今年度から始まった守谷市シニアクラブ顕彰制度の授賞式が 4 月 20 日(金)、守谷市役所において、開催され、みずき会とその会員が表彰されました。

顕彰規定とは、多年にわたりシニアクラブの育成や活動発展に協力し、その業績が他の模範となるような団体および活動発展のためにすぐれた功績のあった協力者を顕彰するものです。

今回の顕彰対象とその理由は以下のとおりです。

<活動賞>

みずき会

守谷市最大規模のシニアクラブとして各種サークルを立上げ、シニアの生きがい作りを担いながら会員増強に大きく貢献し守谷市シニアクラブ連合会が平成 29 年度「全国老人クラブ連合会会長表彰優良市区町村老人クラブ連合会賞」及び「全国 100 万人会員増強運動特別賞」のダブル受賞に輝いたその一翼を担った。



連合会村田会長から表彰状を受け取るみずき会木下会長

<感謝状(連合会推薦)団体>

みずき野ノルディックウオーキングみらい 桜の杜ノルディックウオーカーズ

県老人クラブ連合会推奨のウオーキング事業をみずき会のサークル活動にとどまらず守谷市シニア連合会の推進事業として他市に広めた。ウオーキング回数は年間 114 回に達し参加人数は延べ 1,281 人に達した。

<感謝状(連合会推薦)個人>

西村稔さん、大森昭彦さん

連合会副会長として、シニアクラブ連合会の活動に貢献。またシニアクラブの代表として守谷市敬老会実行委員会の委員を努めた。

伊東隆行さん、木村勝さん、青木正さん

守谷市シニアクラブ連合会文化交流会健康麻雀大会の実行委員として大会の創設・運営に携わり事務局として大きく貢献した。



受賞者を代表して感謝状を受け取る一ノ瀬さん

<感謝状(みずき会推薦)>

一ノ瀬洵さん、石川義文さん、佐藤勲治さん、 江幡俊文さん、鈴木正博さん、熊倉誠さん

みずき会役員就任後も長年に渡りみずき会の会員増強・発展に大きく貢献した。また、夫々のサークル代表としてサークル活動を牽引し、地域活動にも率先して身をおき、郷州小学校の児童見守り行事などに参加し大きな存在となっている。困ったときの相談役の役割も担っている。

シェアハウス大学生の壮行会

2016年(平成28年)暮れより始まった大学生シェアハウスからこのたび2名の学生さんが巣立たれました。

8丁目の遠藤さん、若林さん(いずれも筑波大学大学院生)です。3月21日(水)に有志で送別・壮行会を開き、お二人の門出を祝いました。

お二人には夏祭りでの場内アナウンス、大学生グループの「みずき野思い出マップを作ろう」などで大変活躍していただきました。また、シェアハウス大学生の連絡取りまとめなどにも協力いただきました。

4月からはそれぞれ大阪、名古屋で社会人としての第一歩を踏み出されます。お二人のご活躍を願ってやみません。



(町内会 松本副会長)



新・連載コラム

「鳥見の記 ～散策を楽しもう～」スタート!



← ホームページでこのアイコンをクリック

町内会ホームページで連載中のコラム「みずき野とその周辺の植物と昆虫」に加えて、2月から3丁目の佐藤健三さんによる「鳥見の記」が始まりました。素敵な鳥の写真が満載で、楽しく読みながら「へえ～そうなんだ」と鳥の生態も知ることができます。両コラムともに自然に恵まれたみずき野ならではの連載です。草花や小鳥を探しながら歩くと日々の散策も一層楽しくなりますね。

(広報委員)

☆鳥見の記を書くにあたって☆

エナガ
撮影:佐藤健三



会社と家を往復していたサラリーマンの「月給鳥」が退職し、毎日が日曜日になり始末ぶらぶらする「ブラリー・マン」になりました。そして気づいたことは、みずき野がいくつかの緑豊かな公園に恵まれ、自然が色濃く残る雑木林や田畑に囲まれた環境にあり、里山を思わせる街であること、そしてみずき野や周辺を散策すれば、四季折々にそれぞれ違った場所でさまざまな野鳥に出会えることでした。

サクラの咲き始めた頃のある日、さくらの杜公園の橋付近で、林の中で「ジュルリ・ジュルリ」と鳴き飛び回る小鳥の群れを見ました。その日から「ブラリー・マン」は、その愛らしい目をして飛び回っていた鳥(エナガ)に再会したいと、みずき野と周辺の林でその鳥を探し廻る鳥見の「バーダー」になりました。

「鳥見の記」は、野鳥の写真にその時期・場所の情報を加えた記です。「～散策を楽しもう～」に少しでもお役に立てればと思います。

(3丁目バーダーサトー 佐藤健三)



カワセミ
撮影:佐藤健三



みずき会主催のお花見会

今年で4年目となる、みずき会主催のお花見会が4月5日(木)午後開催されました。

今年は温暖な天気が続いたせいで桜の開花が早く、お花見会場となった「さくらの杜公園」の桜もかなり散っていましたが、92名もの多くの方に参加いただき、お花見気分を満喫することが出来ました。お花見会のスタートに、「青い山脈」と「高原列車は行く」の音楽に合わせて全員で軽い体操をしました。体操のあとは、お弁当、豚汁、ビールなどをいただきながら会話に花を咲かせました。食事の後は恒例となった輪投げや玉入れの丁目対抗試合で大盛り上がり。声援が公園内に響き渡っていました。輪投げの優勝は5丁目、玉入れは、1～3丁目の合同チームでした。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、中締めをする頃には、午後からの強い風の影響もあって桜の花も散り足を早めていました。



(広報委員)



7月21日(土)

第36回 ふるさとみずき野リンリン夏まつり

夏まつり運営ボランティアを募集しております。今年もご支援をお願いします。詳しくは、町内会事務所へお問い合わせ願います。



編集後記

新緑の美しい季節となりました。私事ですが、庭木に設置した巣箱に今年もシジュウカラが巣作りしました。最近はいも虫などをくわえてせつせと巣箱に運ぶ姿をよく見かけます。きっと昨年と同じように5月初旬には、ひな鳥たちが巣立っていくことでしょう。町内会ホームページに連載されている3丁目佐藤健三さんの「鳥見の記」を楽しませていただいておりますが、みずき野に住む鳥の種類の多さに改めて驚いています。

(広報委員会 都俊生)